

算数解説(初級編)

正方形と長方形のせいしつ

四角形があります。4つの角をすべて90度にしてみましょう。

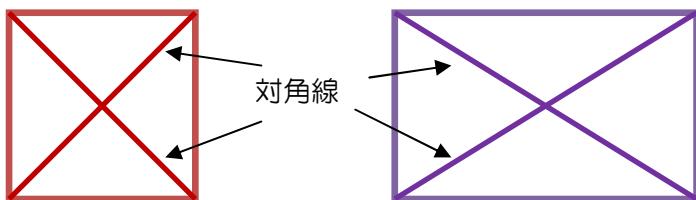


このような四角形を長方形といいます。長方形は、向かい合う2組の辺がそれぞれ同じ長さです。長方形のうち、とくに4つの辺の長さが等しいものを正方形といいます。



長方形も正方形も、向かい合う2組の辺はそれぞれ平行です。

四角形の4つの頂点のうち、向かい合う点を結んだ線を対角線といいます。長方形も正方形も2本の対角線の長さは等しいです。また、2本の対角線はそれぞれの真ん中で交わります。



正方形に1本の対角線を引くと、同じ大きさの直角二等辺三角形が2つできます。さらにもう1本の対角線を引くと、同じ大きさの直角二等辺三角形が4つになります。また、2本の対角線は直角に交わります。折り紙を折って試してみましょう。

